

●総務費 特殊詐欺対策装置購入費補助金

問 予算の根拠と補助利用の見込み件数は。

答 事業費は70万円で補助対象装置購入費用の2分の1、上限額7000円を補助。上限額を補助した場合、100台の補助が可能。

問 補助対象は。

答 装置または固定電話となる。

問 メーカーや製品指定はあるか。インターネット等での購入も対象か。

答 メーカー等の指定はない。申請に必要な書類がそろえば、インターネット等でも可能。

問 制度導入で期待される効果は。

答 詐欺被害の多くは、自宅の電話にかかっており、自動着信拒否装置や自動応答録音装置のついた特殊詐欺被害対策装置は被害を未然に防止する効果がある。

●衛生費 水痘带状疱疹予防接種事業

問 導入の背景について伺

う。

答 水痘带状疱疹は、子供の頃にかかる水疱瘡のウイルスが体内に潜伏し、免疫機能の低下等により発症する。強い痛みや皮膚症状が治った後でも約2割に带状疱疹神経痛が出たり、顔面神経麻痺など重症化する危険がある。予防のためにはワクチン接種が有効であるため、予防接種の一部を助成する。

問 助成内容は。

答 市内に住民登録のある満50歳以上を対象に、生ワクチンは1回分2千円を、不活化ワクチンは1万円を2回分助成する。

問 生ワクチンと不活化ワクチンの違いは。

答 効果は同じだが、生ワクチンは安価であり、持続期間は5年ほど。不活化ワクチンは高価だが、持続期間が9年と言われている。

●農林水産業費 農福連携促進事業費補助金

問 本事業の仕組みは。

答 農業の新たな担い手を確保するとともに、障害者等の就労機会の創出・社会

参加を実現する取組を促進するため支援するもの。農業者が福祉施設と締結する農作業委託業務にかかる経費に対して、年5万円を上限として対象経費の2分の1を補助する。

問 農作業の委託期間・内容、作物の種類・品種に基準や制限はあるか。

答 補助事業の対象期間は年度単位とし、4月から翌年3月とする。農作業の内容や作物の種類・品種に基準や制限はない。

問 現状、農福連携事業に市内で取り組んでいる事例はあるか。

答 農業者が4事業者、福祉施設が3施設ある。圃場の草取り、害虫防除、つま菊のバック詰め作業等を委託している。

●土木費 空家利活用事業費補助金

問 空家リノベーション補助のうち、DIY工事への補助について伺う。

答 本補助事業は工事業者で行う工事だけでなく、空家の所有者または賃借人が自ら行うDIY工事に対し

令和4年度予算

(単位：万円)

会計別		予算額	前年度比
特別会計	一般会計	323億6,200	3.7%増
	国民健康保険事業	70億9,180	0.7%増
	後期高齢者医療事業	23億3,120	0.9%減
	土地区画整理事業	12億820	14.1%減
	公共用地対策事業	1億3,590	78.3%減
	三谷町財産区	4,960	85.1%増
	西浦町財産区	1,390	2.2%増
小計		108億3,060	7.5%減
企業会計	水道事業	収益的 19億3,390	4.5%増
		資本的 19億1,860	34.4%増
	下水道事業	収益的 23億1,450	10.9%減
		資本的 31億5,190	28.8%増
	病院事業	収益的 98億5,080	3.0%増
		資本的 13億1,000	27.3%増
	モーターボート競走事業	収益的 1,566億1,870	1.3%減
		資本的 18億1,340	23.9%減
小計		1,789億1,180	0.6%減
合計		2,221億440	0.3%減

依存財源 38.5%

